

葉椀

夕顔吸物椀同好
喰初おつぼ吸物椀同好

但シ鶴龜松竹ノ繪

同好
うるみ反り吸物椀同好

網ノ椀同好

同坪平同好

網ノ繪大平皿天然好

糸目椀宗室好

基筒椀宗室好

〔新撰字鏡〕菘久苦 蕪比良天 又天保

〔倭名類聚抄〕十三天 藍具久保天 葉椀 本朝式云、十一月辰日宴會、其飲器、參議以上朱漆椀、五位以上葉椀、和語云久

〔類聚名義抄〕八艸 葉椀クホテ

〔古事記傳〕三十クホテ 葉椀は葉盤ヒラテと同じ物にして、たゞ形の窪ヌカく深きが異なるなり、

〔延喜式〕七踐 大嘗祭凡供神御雜物者略 中 並居葉椀久苦 覆以笠形葉盤比良天 似笠形 以木綿結垂裝飾、

〔延喜式〕三大炊 十五 宴會雜給

其飯器略 中 五位以上葉椀略 中 大歌立歌國栖、笛工並葉椀、五月五日荷葉、餘節干柏、七月廿

〔空穂物語〕俊蔭 二 この猿六七ひきつれて、さまざまの物のはを、くぼてにさして、まゐりかき、なし、いも、ところなどをいれて、もてくるをみ給に、いとあはれに、さはこれにやしなはれて、有なり

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五拾八匁	五拾八匁	五拾三匁	百三十五匁	百三十五匁	百六拾目	百六拾目	百廿九匁	百六拾目	百六拾目
			箱五人前	五人前	五人前	五人前	高五ッ添	高五ッ添	高五ッ添